

★★在福岡アメリカ領事館 日米宇宙協カシンポジウム★★



21世紀の日米宇宙開発における スペースデブリの影響と課題



(スペースデブリ=宇宙ゴミ)

- 日時 2013年1月25日(金) 午後5時～7時
- 会場 福岡アメリカン・センター 電話:092-761-6661
(福岡市中央区天神2-2-67 ソラリアパークサイドビル8階)

■ モデレーターと講師:

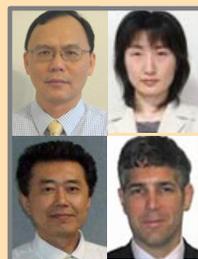
モデレーター 八坂 哲雄氏(九州大学 名誉教授)

講師① J・C・リウ氏(NASAジョンソン宇宙センター軌道デブリプログラム局 主任研究員)

講師② 河本 聡美氏(JAXA未踏技術研究センター スペースデブリユニット 主任研究員)

講師③ 花田 俊也氏(九州大学工学研究院 宇宙システム工学 教授)

講師④ リチャード・ベイクウェル氏(在日米国大使館政治部 政治・軍事担当官)



《日英同時通訳つき/入場無料》

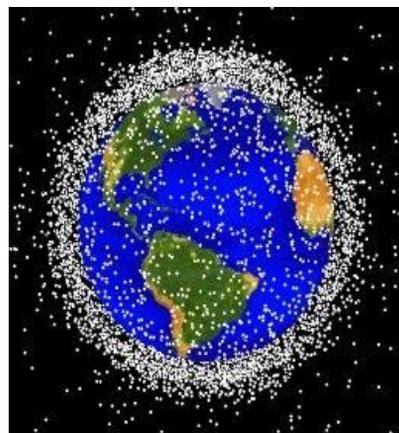
在福岡アメリカ領事館では、NASA(米国航空宇宙局)、JAXA(宇宙航空研究開発機構)、在日米国大使館と九州大学から専門家を招き、地球軌道上における「スペースデブリ(=宇宙ゴミ)」の現状と問題点やスペースデブリ対策における日米協力をテーマとした特別シンポジウムを開催します。地球上では温暖化防止や気候変動問題の解決へのさまざまな取り組みが行われていますが、宇宙の環境に目を向けると、スペースデブリの問題は私たちの生活や今後の宇宙開発にも深刻な影響を与える可能性がある重要な課題です。

1957年に世界初の人工衛星が打ち上げられて以来世界各国で数千回の打ち上げが行われ、数千トンもの人工衛星やロケットが宇宙に運ばれました。これらのミッションで廃棄された宇宙機や宇宙空間に放出された部品や破片などは、その大部分が「スペースデブリ」として放置され現在も地球の周回軌道を回っています。NASAによると10cm以上の大きさのスペースデブリが2万1千個以上もあり、「秒速」7~8kmというスピードで周回していますので、微小なスペースデブリでも衝突時には相当な破壊力となることから、最近では軍事、通信、地球観測、航行、気象衛星などの人工衛星や宇宙ステーションなどへの衝突が危惧されています。

人類による地球環境汚染の過ちを宇宙空間でもくりかえすことのないよう、科学者だけでなく社会全体でこの問題への理解を深めていくことが大切です。多数の出席お申し込み、ご来場をお待ちしております。

2013年1月

在福岡アメリカ領事館



地上高度2,000km以下の軌道を周回するスペースデブリのNASAイメージ画像



NASAの太陽観測衛星の外壁のスペースデブリ衝突痕拡大写真



★出席ご希望の方は、別紙ファックス出席申込用紙で在福岡アメリカ領事館広報部へお申込ください。メール(FACprogram@state.gov)での申し込みも可能です。(担当:宮内)
★先着順申込受付です。(定員100名) なお受講票は発行しません。お申込時に満席の場合のみ連絡を差し上げますので、連絡がない場合は直接会場にお越しください。【申込締切=2013年1月24日(木)】

《 ファックス出席申込用紙（申込締切＝1月24日） 》

申込み先： 在福岡アメリカ領事館広報部 担当：宮内 ファックス番号＝092－721－0109
メール（FACprogram@state.gov）での申し込みもできます。（先着100名）

●2013年1月25日開催 『21世紀の日米宇宙開発におけるスペースデブリの影響と課題』●

※4名以上のお申し込みの場合は通信欄にご記入いただくか、複数の申込用紙にご記入ください。

(1)出席者氏名(勤務先・学校名および役職):

■氏名(よみがな)	勤務先・学校名および役職
_____ ()
■氏名(よみがな)	勤務先・学校名および役職
_____ ()
■氏名(よみがな)	勤務先・学校名および役職
_____ ()

(2)連絡先電話およびファックス番号、電子メールアドレス:

電話＝() - ファックス＝() -

電子メールアドレス＝

(3)通信欄:

【講師略歴】

■講師① J・C・リウ氏 (NASAジョンソン宇宙センター 軌道デブリプログラム局 主任研究員):

デブリ除去、メテオロイドやデブリの軌道上計測を含めた軌道デブリ環境の長期モデルの研究のリーダー。NASAジョンソン宇宙センター地球外物質研究探査室の主任研究者でもある。NASAの軌道デブリモデル“ORDEM2000”と長期デブリ推移モデルの“LEGEND”の開発を指揮し、現在軌道デブリ環境浄化の各種オプションを検討する活動をリードしている。粒子衝突を軌道上で探知する技術の開発担当でもある。

■講師② 河本 聡美氏 (JAXA未踏技術研究センター スペースデブリユニット主任研究員):

JAXA(宇宙航空研究開発機構)の研究開発本部未踏技術研究センター スペースデブリ発生防止セクションのリーダー。デブリ除去のための高効率推進系である導電性テザーシステムの研究開発や、デブリへの接近、運動推定、推進系取付等、デブリ除去システムの研究に従事。またデブリモデル・解析ツールの研究も担当し、JAXA衛星に対するデブリ衝突解析等を実施。

■講師③ 花田 俊也氏 (九州大学工学研究院 航空宇宙工学部門宇宙システム工学 教授):

航空宇宙力学、宇宙機ダイナミクス、ミッション分析とデザインについての講義を担当。研究のポイントは、日本のSF漫画「プラネテス」のテーマでもある宇宙デブリについて、デブリを軌道上で除去する必要性の有無を確定すること。九州大学大学院生の発案による軌道デブリ環境を明らかにするプロジェクトのIDEAを指揮している。米国学術研究会議と九大の援助を得てNASA軌道デブリプログラム局で研究に携わり、NASA軌道デブリプログラム局と小型衛星衝突実験を担当。

■講師④ リチャード・ベイクウェル氏 (在日米国大使館政治部 政治・軍事担当官):

東京の在日米国大使館政治部で、日米同盟における情報、サイバー、宇宙分野の安全保障政策や、人道支援と災害救援に関する在日米軍と自衛隊間の調整、自衛隊の平和維持活動参加、および日本のアジア・太平洋地域以外の国々との安全保障関係などを担当。以前には、ガイアナの駐ジョージタウンアメリカ大使館の領事部・経済部やワシントンDCの米国政府監査院で勤務した。その前にはブルガリアで平和部隊に参加した経験も持つ。

【会場案内図】

福岡アメリカン・センター 電話: 092-761-6661
福岡市中央区天神2-2-67 ソラリアパークサイド・ビル8階

- 警固公園・警固神社の横の「ソラリアパークサイド・ビル」8階です。1階にローソンがあります。
- 三越デパートの5階から「アメリカン・センター連絡通路」を通って来館することもできます。
- 保安上の理由で、会場へ飲み物を持ち込むことはできません。あらかじめご理解・ご協力をお願いします。

